

## 2025年度フランス教育学会研究懇話会

### フランスにおける幼児教育・保育と文化活動

#### 概要

フランスでは、幼児教育・保育従事者は、集団施設において、0歳から3歳までの子どもを対象に、身体的、文化的、芸術的な発達を促す活動を実施し、最近では科学的な活動も行う役割を担っている。その中心的な目標の一つは、幼児期から不平等を軽減することであり、学校教育システムに入る前からの取り組みが重視されている。

この報告では第一に、文化省と連帯・保健省の共同プロジェクト「私の健康は文化的なもの」に焦点を当てる。このプロジェクトは、子どもとその親だけでなく、幼児教育・保育の専門家にも芸術と文化へのアクセスを民主化することを目的としている。

第二に、幼児教育・保育従事者の具体的な活動を分析する。文化的活動と身体的活動の実施は、歴史的に幼児教育・保育従事者に特有の専門分野であり、保育学校に固有の教師の役割や学習の論理とは対照的である。一方、芸術的・科学的活動は、美術館や科学館などのパートナーとの協働を特徴とする、より専門的な性格を有している。私たちは、これらの活動が幼児教育・保育従事者によってどのように取り入れられ実施されているかを理解することを目指す。

#### 講師

アメリ・ドロバール（リヨン・リュミエール第2大学 准教授）：社会福祉職従事者の職業形成と養成、特に各分野の教育専門家（幼児教育・保育関連、司法関連など）の職業の専門化の歴史と新たな課題に焦点を当てた研究を行っている。

#### 司会／通訳

小林純子（南山大学 教授）

#### 日時

2025年10月26日（日） 13:30～15:00

#### 会場

コンソーシアム富山 富山駅前キャンパス CiC 5階 研修室1（富山市新富町1-2-3）

\* Acknowledgement. JSPS KAKENHI Grant Numbers JP21K02305 / Nanzan University Pache Research Subsidy I-A-2 for the 2025 academic year.